

ソフトマネジメントによる労働時間削減の好事例

取組名 クラウドを利用した現場写真管理

取り組んだ現場の休暇取得状況 4週8閉所（4週8休）

取組み概要

・現場で撮影した写真の自動振分による業務効率化。

取組みの背景・課題

・従来、現場で撮影した写真は事務所へ持ち帰り、PCへの取込や写真管理ソフトへの取込、その後タイトル編集や写真情報を手入力し振分を行っていた。そのため業務に費やす時間は概ね60分程度掛かっており本業務の効率化を図る術を探っていた。

取組み詳細

システムフロー



効果

・事前に写真情報を入力した電子小黒板を利用して撮影した写真はクラウドにアップロードし、事務所では写真管理ソフトにクラウドから取込むと写真情報により自動振分が行われる。業務に掛かる時間はおよそ20分程度となり効率化が図れた。

利点

・業務時間の短縮。
・クラウドでは3D地図上に撮影した写真と日付が確認でき、現場の進捗状況把握が容易。

継続のポイント

・3つの専用ソフトを常に連携させておく必要がある。(更新等)
・年間契約が安価である。

改善点

・年齢の高い人ほど苦手意識を持つため、特定の職員のみ利用する場合がある。解決策として社内講習等の開催が必要。

市販ソフト

・CIMPHONYPlus・どこでも写真管理Plus・武蔵

参考資料等

・特になし

適用条件等

・特になし

検索用分類

意識改革 業務削減 効率化 人材育成・教育 ワークシェア
適正工期 休暇 ワークライフバランス その他